

英文情報開示支援事業【Disclosure G】 提案依頼書



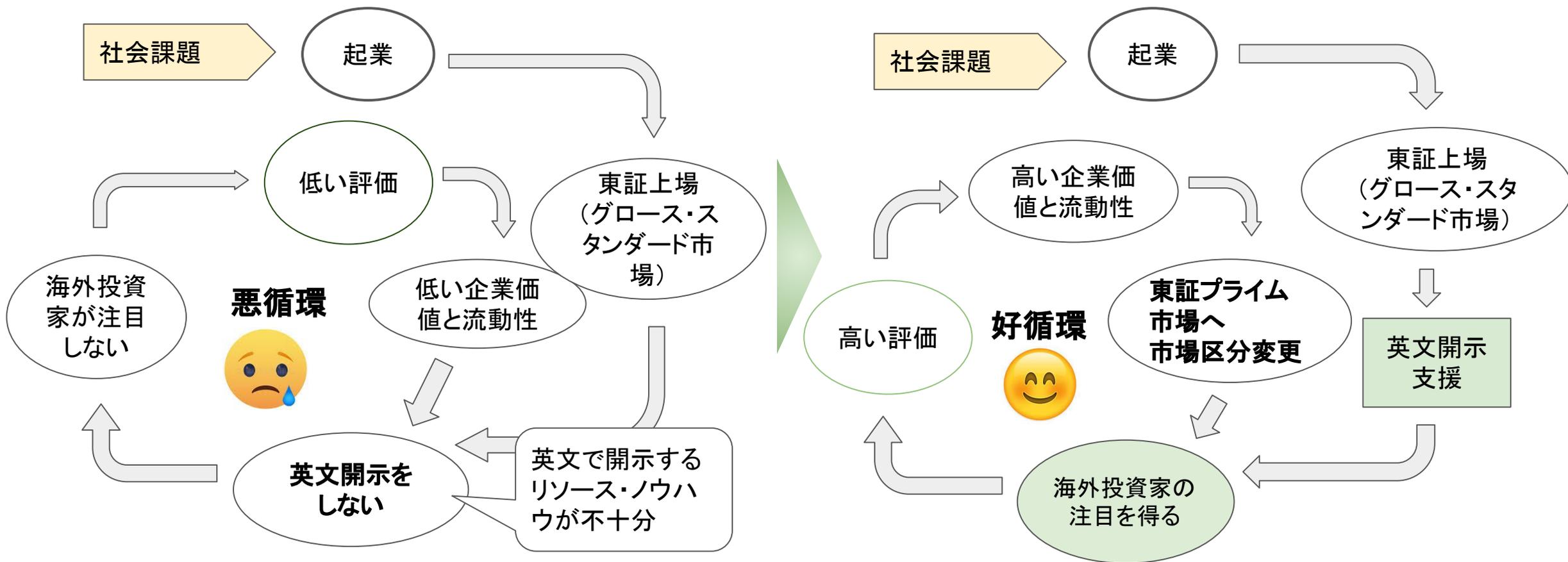
Disclosure G

令和6年2月

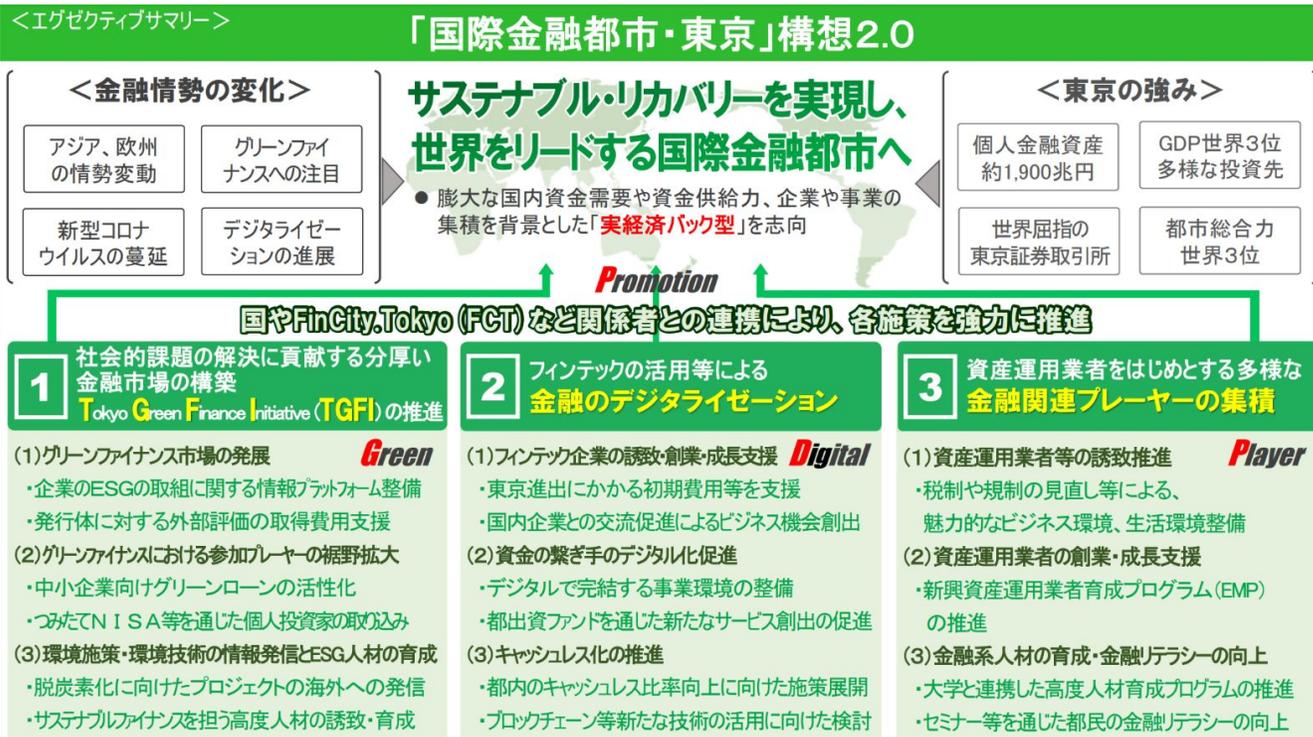
一般社団法人東京国際金融機構 (FinCity.Tokyo)

上場中小企業英文開示に対する問題意識

日本には社会課題解決を目的とした上場中小企業が多いが、英文開示を実施できている企業が少なく、海外投資家にはあまり知られていない。英語での開示を支援することで悪循環を好循環に変換できる。



本事業と構想2.0の関係



IV 各取組に関する情報発信（プロモーション）

- ▶ 世界をリードする「国際金融都市」となるためには、FCTや日本貿易振興機構（JETRO）、海外の金融プロモーション組織等と緊密に連携しながら、都市としての魅力、都の具体的な支援策等を広範かつ戦略的に情報発信していくことが重要である。
- ▶ また、東京には優れた技術や製品を有しているが、人的・資金的制約等により、英語による情報発信が困難で、いわば「隠れた原石」となっている企業が存在する。こうした企業情報の、英語による発信支援は、東京への投資の呼び込みにつながる取組である。
- ▶ さらに、東京進出を検討する金融系外国企業・人材が、さまざまな支援施策などの情報を一元的に入手しやすい仕組みを整備していくことが重要である。

<主な取組>

① 「国際金融都市・東京」の魅力発信

- FCTや日本貿易振興機構（JETRO）等と連携して国内外向けプロモーション活動を推進する。
- 2020年に開設した、ビジネスコンシェルジュ東京・香港窓口を拠点として、香港をはじめとするアジア企業に対し、東京の魅力やビジネス環境等をPRし、東京進出につなげていく。
- 金融分野で活躍する専門家や著名人、日本に駐在する外国人ビジネスコミュニティなど、第三者の目線から、東京の魅力やビジネス機会について情報発信をしていく。
- 情報を伝えたい対象に、必要とされる情報が届くよう、発信するコンテンツや媒体を選択して情報発信をしていく。その際、SNSや動画についても積極的に活用を図っていく。

② 企業の英語による情報発信支援

- 優れた技術や製品を有しているが、英語による情報発信が困難な企業に対し、FCTと連携し、英文情報開示に係る助言、IR資料等の英語翻訳等の支援を行う。

③ 金融系外国企業・人材に対する情報アクセシビリティの改善

- Access to Tokyoやビジネスコンシェルジュ東京などによる情報発信を質・量とも充実していく。
- また、様々な支援情報を一元的に収集できるよう、ウェブサイトを整備していく。

英文情報開示支援の考え方

- 国際金融都市・東京構想の実現に向け、東京の証券市場を海外投資家にとってもより投資しやすく魅力的なものにするために、英文開示実施率※の向上を目指す必要がある。
- 企業の英文情報開示にあたっては、海外投資家が目を向け、又、企業の海外展開にも寄与するような取組が重要であり、日本語情報の英文化と併せ、効果的なIRを行う必要がある。
- そのため、単に日本語を英文化する翻訳支援を行うだけでなく、英文によるIR支援など、質の高い取組が海外からの投資呼び込みや企業の成長に繋がる。
- 令和4年度は、英文IR資料作成の個別支援を15社に、令和5年度は12社に対して行った。また上場区分ごとに対象を分けた英文IR人材育成講座を開催した。未上場企業へも告知を行い、英文IRに関する情報発信を広く行った。
- 令和6年度は昨年度の取り組みを継続しながら、個別支援における英訳支援開示資料の精査、英文IR人材育成講座の開催回数や内容の検討を行う。

※具体的には東京証券取引所上場部が公表する「英文開示実施状況調査集計レポート」に掲載される英文開示実施率を指す。

令和5年度の課題と令和6年度の内容

令和5年度の課題

- 個別支援の年数を3年から5年に伸ばしたが企業からの大幅な申し込み増には繋がらなかった。
- FCTがネットワーキングイベントに行き、直接対面して営業を行っている。イベントの集客や広報はFCT・東証が実施していることが多い。
- 英文IR人材育成講座の開催時間を短縮して**頻度を増やした**。個別支援の募集も兼ね、4月～5月に最初の講座を開催したが、個別支援申し込みには繋がらなかった。
- 講座は参加者が多いが大規模なイベントのため、個別の企業担当のモチベーション向上にどの程度寄与しているか不明。またネットワーキングが活発に行われていない。
- 業務時間中に開催しているため、人的リソースが限られる上場中小企業は参加が難しいとの指摘も受けた。



令和6年度のアップデート内容

- 事業自体の認知度の底上げを目指し令和5年度後半に広報用のウェブサイト・動画・記事を作成。活用して広報を拡充する。
- 委託先企業による広報・営業活動を活発化させる。
- 年度当初は個別支援の募集に集中し、対象企業に対して情報発信を行う。
- IR担当者の英文IRへの関心を高めるため、またIR担当者同士の情報交換の機会を作るため、小規模のワークショップを年数回開催する。
- イベントの開催時間は、ターゲットオーディエンスのニーズに応じて、日中に限らず、夜間の時間も検討する。

令和6年度のDisclosure Gの骨格(案)

【上場企業個別英文IR支援】

- ・個別支援企業数:15社程度
- ・IRアドバイス(エクイティストーリー構築支援)
- ・決算関連資料の英訳支援
(決算時期によって有報も支援)
- ・海外投資家コミュニケーション支援

令和6年度は事業として、以下を実施。

- ①ハンズオンによる上場企業個別英文IR支援(選定委員会により選定された上場企業15社程度)
- ②英文IR人材育成講座(対象は全上場企業・上場を目指している未上場企業、イベント内容と対象に合わせて複数回に分けての開催を予定)
- ③英文IRワークショップ(対象は全上場企業を予定しているがプログラムによって変動。テーマ、対象、参加人数を絞り、講師・実務担当者間の情報交換の促進を目的とする)

5月以降
個別支援企業選
定、支援を順次開
始

令和6年4月
事業開始
個別支援企業の
募集開始

【個別支援事業説明会
(5月初旬、6月初旬)】

- ・オンライン開催を想定
- ・個別支援説明会を開始し、関心の高い対象企業を絞り込む

New

【③英文IRワークショップ
(7月初旬、10月初旬を想定)】

- ・外部講師による人材育成講座
- ・30名程度
- ・開催形式:会場のみ
- ・18時~20時(懇親会付)

令和7年3月
事業報告

【②英文IR人材育成講座(1月末を想定)】

- ・外部講師による人材育成講座
- ・コンテンツ案:投資家目線の開示ノウハウ、企業の事例、海外投資家とのコミュニケーションのコツ、AI翻訳の活用等
- ・開催形式:会場+オンライン
- ・最新の開示規制等も盛り込む

業務委託内容

1. 本事業の事務局運営

- 企画、事業全体の進捗管理、定例会運営、選定委員会運営、支援対象企業募集事務等
- 企業募集やイベントに関して遅延が起こらないよう注意して運営すること。
- 本事業のWebサイトの内容アップデートに際しての、Webサイト運営事業者および個別支援企業(過年度支援企業含)との連携。

2. 上場企業個別英文 IR 支援(対象:東証グロース市場又はスタンダード市場上場企業 15社程度)

翻訳のみの提供ではなく、海外投資家とのコミュニケーション力向上に向けたアドバイスも含むこと。

企業が本事業で支援を受けた後も自立して英文開示が実施できるような下地づくりであることを考慮する。

①IRアドバイス、エクイティ・ストーリー構築支援等の IR 助言

- 本事業の実施要綱作成(選定基準の検討含む)
- 支援対象企業の募集に関する業務(告知等)・ソーシング
- 支援対象企業選定のための選定委員会の開催
- IRアドバイス(エクイティ・ストーリーの構築を中心とした IRアドバイス)
 - アドバイス内容については事務局に報告できるよう書面に残しておくものとする
- 決算短信及び決算 IR 説明会資料等の作成アドバイス
- 令和4年度個別支援企業15社へのアンケート・ヒアリング等の効果測定
- 令和5年度個別支援企業12社へのアンケート・ヒアリング等の効果測定
- 選定委員への謝金も費用負担に含む

②開示書類の英訳、海外投資家とのコミュニケーションアドバイス

- 決算短信及び決算 IR 説明会資料等(決算期によって有価証券報告書*、事業計画及び成長可能性に関する事項の開示も対象とする)の英訳支援

*有価証券報告書の英訳支援については、選定企業のうち5社以上は対応するものとする。

- 海外投資家とのコミュニケーションアドバイス
 - アドバイス内容については事務局に報告できるよう書面に残しておくものとする

業務委託内容

3. 英文IR人材育成講座およびワークショップの開催(対象:主に全上場企業。コンテンツにより適宜変動する。)

IR担当者の困り事を解決し英文IRの実施率向上につながるようなコンテンツを企画する。

IR関係者のネットワークを構築し、情報交換の場を設ける。

東京証券取引所・JPXと適宜連携をとりながら実施する。

- 海外投資家対応ができる人材を育成する講座(講演・ワークショップなど)の企画立案
 - コンテンツ案:投資家目線の開示ノウハウ、企業の事例、海外投資家とのコミュニケーションのコツ、AI翻訳の活用、最新の開示規制等
 - 日程は主な決算期、IR部門の繁忙期を避けるための情報収集を行うこと
- 講演者の選定・参加打診・スケジュール調整
- 広告宣伝
- 集客(令和5年度の参加者数を参考にする)
- 開催に係るロジ運営
 - 必要な人材を十分に確保すること
- 会場費用、講演者への謝金も費用負担に含む

4. 事業報告書の作成

業務実績を可視化し、課題を洗い出し来年度へつなげること。

提案依頼内容

【事業期間・委託金額等】

- 事業期間 : 令和6年4月～令和7年3月
- 委託金額 : 4,300万円(消費税込み)
- 選定方法 : 企画競争入札
- 評価 : 提案内容と価格を総合的に判断して原則 1社を選定

【留意点】

- P5記載の業務委託内容に対し、貴社独自の企画をご提案ください。
- P5記載の業務内容を一括して受託することを原則としますが、必要に応じて一部業務を外注する提案も可とします。その場合、外注する業務を除く金額(委託金額)、外注する業務及び当該業務の発注先、当該業務の見積額等を明らかにしてください。
- 貴社の紹介及び本事業の貴社担当者(複数名いる場合は全員)の略歴を提案資料内に必ずご記載ください。
- 上場企業の未公開情報や個人情報扱う場合があるため、貴社の情報管理体制についても必ずご記載ください。
- 事業者の決定については、提出された提案書を基に書面審査を行い、その後必要に応じて FCT の指定する企業について審査会を実施し、提案内容を総合的に判断して 1社を選定する。今後のスケジュールについては、以下のとおりとする。なお、スケジュールは今後変更する可能性がある。
- 本事業は、FCTの令和6年3月の理事会にて、FCTの事業計画が承認され、かつ東京都の令和6年度歳入歳出予算が、令和6年3月31日までに東京都議会で可決された場合において、令和6年4月1日に確定させるものとする。

【今後のスケジュール】

- 2月 28日(月):RFP公示
- 3月 18日(月):提案書・動画提出期限(当日 17:00までに送付ください)
- 3月 19日(火)～3月 26日(火):事業者の選定
- 4月 1日(月) :事業開始

【送付先】

- FinCity.Tokyo 英文情報開示支援事業事務局担当 東海林美咲 メールアドレス: misaki.shoji@fincity.tokyo

支払方法

- 契約期間満了時に提出する納品物(事業報告書等)をもって令和6年度末までに支払う。
- 考慮すべき事情がある場合は、第二四半期(8月)に2,000万円を、第四四半期(3月)に2,300万円を支払う分割払いとする。

業務履行にあたっての留意点

- 本事業の企画・運営にあたっては、無理のないスケジュールを立案の上、適切な進行管理を行い、期限を遵守するとともに、確実に業務を執行すること。
- 本事業を円滑に推進するため、事業の実施方針や進め方、技術的対応等についてFinCity.Tokyoと十分に調整を図るとともに、FinCity.Tokyoから申し出があった場合には、速やかに本委託業務の進捗状況を報告すること。
- 契約金額には本業務の履行にかかる一切の費用を含むものとし、金額的に実施不可能な提案は行わないこと。
- 本委託業務の実施に当たり知り得た情報については、他の目的で使用すること及び売買することを禁止する。本委託契約終了後も同様の取扱いとする。

権利の帰属

- この提案依頼書に基づく業務の受託者は、FinCity.Tokyo及びその指定する者に対して成果物の著作権者人格権の行使をしないこと。
- 作成等に当たり、第三者の著作物を利用する場合には、当該第三者から受託者が適切な許諾を得ておくこと。なお、委託完了後もFinCity.Tokyoが無償で著作物を利用できるようにすること。
- 作成等に当たり、他者の著作権を含む知的財産権、肖像権その他のいかなる権利も侵害しないこと。万一他者の権利に抵触した場合は、受託者の責任と費用をもって適正に処理すること。

問い合わせ先

一般社団法人東京国際金融機構 (FinCity.Tokyo)
英文情報開示支援事業事務局担当 東海林美咲
メールアドレス: misaki.shoji@fincity.tokyo

(参考) 過年度の選定企業

令和3年度選定企業(5社)		
ACSL	Retty	ツクルバ
Branding Engineer	フォースタートアップス	

令和4年度選定企業(15社)		
ウィルズ	プレミアアンチエイジング	ハイブリッドテクノロジーズ
グッドパッチ	リビングプラットフォーム	ヤプリ
コアコンセプト・テクノロジー	アクシージア	THECOO
GRCS	コンフィデンス	ココナラ
全研本社	デコルテ・ホールディングス	湖北工業

令和5年度選定企業(12社)		
i space	アピリッツ	INFORICH
AnyMind Group	GAテクノロジーズ	住信SBIネット銀行
note	ブシロード	プログリット
プロジェクトカンパニー	ボードルア	ワンキャリア

(参考)令和5年度英文IR人材育成講座の内容

英文IR人材育成講座 プログラム

セミナー申込 ▶ 下記URLまたはQRコードよりお申込みください。

<https://disclosure-g-ir2024.peatix.com>



※ 自社と異なる市場区分向けの日程にもお申込みいただけます。

※ 会場への参加については、企業経営者及びIR担当者の方を優先的にご案内させていただきます。

2月20日(火) 14:30 - 17:30

For スタンダード市場、グロース市場、TOKYO PRO Market、未上場企業

14:30 - 14:40 共催者挨拶	東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美 氏
14:40 - 15:20 上場会社パネルディスカッション	アピリティ 取締役執行役員 CFO 永山 亨 氏 GA technologies Management Strategy Division IR 部長 渡辺 聡子 氏 note IR リーダー 三浦 愛梨 氏 Lawyer's INFO 取締役 COO 重松 英 氏 (モデレータ)
15:20 - 15:30 休憩	
15:30 - 15:40 英文IRに関する東京都の取組	東京都 スタートアップ・国際金融都市戦略室 特区・規制改革担当部長 福永 真一 氏
15:40 - 16:15 英文 IR 支援を受ける際の心得	トランスパシフィックエンタープライズ 取締役社長 レイ・デボア 氏
16:15 - 16:55 プレインイングリッシュの考え方 ～投資家が望む情報発信術～	エイアンドピープル 代表取締役 / 一般社団法人日本プレインラ ンゲージ協会 代表理事 浅井 満知子 氏 エグゼクティブアドバイザー 堀田 祐介 氏
16:55 - 17:00 共催者挨拶	FinCity.Tokyo 事務局長 増田 剛 氏
17:00 - 17:30 ネットワーキングセッション(会場のみ)	

※ 諸事情によりプログラム内容や時間は変更される可能性があります。

2月21日(水) 14:30 - 17:30

For プライム市場

14:30 - 14:40 共催者挨拶	東京証券取引所 取締役常務執行役員 青 克美 氏
14:40 - 15:25 英文開示のニーズと投資家が真に求める情報	フィデリティ投信 ヘッド・オブ・エンゲージメント兼 ポートフォリオ・マネージャー 井川 智洋 氏
15:25 - 15:35 休憩	
15:35 - 16:10 プライム市場における英文開示の拡充について	東京証券取引所 上場部企画 G 統括課長 池田 直隆 氏
16:10 - 16:55 IR 部門に期待される役割と人材の育成	日本 IR 協議会 専務理事 佐藤 淑子 氏
16:55 - 17:00 共催者挨拶	FinCity.Tokyo 事務局長 増田 剛 氏
17:00 - 17:30 ネットワーキングセッション(会場のみ)	

お問い合わせメールアドレス: disclosure.g@fincity.tokyo

2/20参加人数:
オンライン413名
会場48名

2/21参加人数:
オンライン824名
会場86名



(一社)東京国際金融機構 (FinCity.Tokyo)



(株)日本取引所グループ
(株)東京証券取引所 共催

(参考) 令和4年度英文IR人材育成講座の内容

プログラム

2022年9月26日(月)

グロース市場/スタンダード市場/TOKYO PRO Market/未上場向け

13:00~13:05

開会挨拶

東京証券取引所 取締役専務執行役員 小沼 泰之氏

13:05~13:45

海外投資家を知る

ジェイ・ユラス・アイアール シニア・マネージャー 原山 真紀氏

13:45~14:45

上場会社パネルディスカッション

カオナビ 取締役CFO 橋本 公隆氏
 アパント コーポレート コミュニケーション室長 西村 賢治氏
 モデレーター 原山 真紀氏

14:45~14:55

休憩

14:55~15:25

英文開示促進に向けた東証の取組

東京証券取引所 上場部 調査役 藤澤 明子氏

15:25~16:55

英文開示の実践

英文開示実施に向けた計画の立案
 プロネクサス ディスクロージャー事業部 グループ戦略部 担当部長 児玉 高直氏
 翻訳外注の活用 宝印刷 執行役員 国際事業統括部長 三輪 哲也氏
 機械翻訳の活用 国立研究開発法人情報通信研究機構 フェロー 隅田 英一郎氏

16:55~17:55

英文開示における基礎英語

トランスパシフィックエンタープライズ 取締役社長 レイ・デボア氏

17:55~18:00

閉会挨拶

東京国際金融機構 事務局長 横田 雅之氏

2022年10月5日(水)

プライム市場向け

13:00~13:05

開会挨拶

東京証券取引所 取締役専務執行役員 小沼 泰之氏

13:05~13:45

海外投資家を知る

ジェイ・ユラス・アイアール 代表取締役 岩田 宜子氏

13:45~14:35

海外投資家とのコミュニケーション

大塚商会 社外取締役/浜辺真紀子事務所 代表 浜辺 真紀子氏

14:35~15:05

英文開示促進に向けた東証の取組

東京証券取引所 上場部 課長 後藤 潤一郎氏

15:05~15:15

休憩

15:15~15:55

海外投資家が求める英文開示

カタリスト投資顧問 シニア・グローバル・アドバイザー
 東京国際金融機構 アンバサダー イェスパー・コール氏

15:55~17:25

英文開示の実践

英文開示実施に向けた計画の立案
 プロネクサス ディスクロージャー事業部 グループ戦略部 担当部長 児玉 高直氏
 翻訳外注の活用 宝印刷 執行役員 国際事業統括部長 三輪 哲也氏
 機械翻訳の活用 国立研究開発法人情報通信研究機構 フェロー 隅田 英一郎氏

17:25~18:05

英文開示における基礎英語

トランスパシフィックエンタープライズ 取締役社長 レイ・デボア氏

18:05~18:10

閉会挨拶

東京国際金融機構 事務局長 横田 雅之氏

9/26参加人数:
 オンライン372名
 会場28名

10/5参加人数:
 オンライン849名
 会場79名